

3  
月  
号

# いっしん

平成30年(2018年)

第398号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市  
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653  
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPIはカラーです》

われよしと  
思う心は  
道のあだ  
我身のあだ  
いましめて行け  
甘本親教会  
初代教会長  
安武松太郎師神秋

矢野政美大人20年祭・矢野サダ子大刀自5年祭 平成31年2月10日執行



## 「お彼岸」とは

「お彼岸」には、金光教の教会では全教的に「靈祭」が仕えられます。

「彼岸」そのものは仏教の教えですが、日本には、古来より農耕儀式として、自然を崇拜し先祖を敬う考えがあり、植物（作物の種）が芽吹く春に安全と五穀豊穡を祈り、収穫の季節を迎える秋に感謝をささげていたことが起源となっています。古くは聖徳太子の頃から記録が残っているそうです。

日本は古来より、農耕文化により生計をなし社会を形成してきており、太陽が真東からのぼり真西に沈み昼夜の時間が同じになるこの時季に、自然の恵みと先祖の働きに対する感謝をささげ、家庭や社会の大切な習慣として伝承してきました。いわば、親先祖と天地自然に対する感謝と畏敬の念の現れです。

お道の先師は「親思う 心に親は居ますなり 祀(まつ)れ我が身を親と思いて」ともお詠みになられています。春分の日は春季靈祭を共々にお仕えさせていただきますしゅう。

# 「金光教学院入学を

## 志した理由」

矢野裕子（二十二才）

私が金光教学院を志した理由、動機は、これといった決定的なことはありませんが、子どもの頃から教会での少年少女会、中学生になっての「子弟の集い」（日本親教会各教区等）や「交歓会」（日本親教会の少年少女会の集い）や、「年代別キャンプ」（霊地で開かれる少年少女会連合本部主催）に姉妹で参加していたことです。

また、その後、気が付けば年代別キャンプのスタッフの御用に参加させていただくようになっていたことがきっかけとなったように思います。そのような中で、周囲にいた人たちの影響があるように思います。

参加させていただくたびに、いろんな先生方のお話を聞かせていただき、感化されていったこともありま

す。特に「私は、天地の恵みの中でおかけを頂いて生かされて生きているのだ」ということを理解し、こんな



ことを言えば今の時代馬鹿馬鹿しいと思われるかも知れませんが、心から「世界平

和」を願い、金銭的な豊かさとは別に、心の豊かさで人の心は救われる、救える」と思ったからでもあります。

高校に入れば、専門分野の新しい色々な知識や、いろいろな資格も習得できるのですが、私が学びたいことは、ここでは学べない」と、思い始め、高校に行く意味を見失ってしまい、そのまま流れるように高校を中途退学しました。

「こんな未熟者が金光教の教師になったところで、誰が話を聞いてくれるのか、付いてきてくれるのか」と思い、社会勉強のためにアルバイトをしました。

少しだけではありませんが、大人社会の厳しさに触れさせていただいたようにも思います。

高校中退は、思った以上に社会での風当たりが強いのですが、私にはお道でのキャンプスタッフなどの御

用の中で、いろんなみ教えや教話を通して救われたように思います。

「いろんな辛さや厳しさがあればあるほど、人よりも有難い人生を歩めている」と思えるようにもなりました。

「いろんな過ちを繰り返してきた自分だからこそ、誰かの過ちを受け容れることができる、過ちだと気づくことができる、気付かせることができるのではないか」と思います。

私の中の理想は、高校を卒業し、すぐに金光教学院に行くことでしたが、「高校を中途退学したので、いっそ同世代が大学を卒業する年まで自分はいろいろと社会で学ばせていただく」と思い、いろいろな職種で働かせていただきました。

そのようにして今年、その私なりの目標の年を迎えることとなりました。



以上が私の金光教学院を志した理由です。最後まで読んでいただき有難うございました。

『金光新聞』 二月二十五日号  
海蔵文庫  
鹿児島地方教会連合会

「一人でも参加者があれば

少年少女会を」

ひっとべバンド隊の活動

矢野 章(鹿児島県  
加治木教会長)

九州でも、鹿児島地方連合会は南の最果て。鹿児島県内の十数教会と、沖縄県那覇教会を含む連合会で、近年、活動運営の厳しさに、どの教会も直面しています。

私は十数年前まで、毎年8月にこの本部で開かれる、金光教少年少女全国大会の「かがやけ大行進」に、加治木教会少年少女会員のみで参加していました。

しかし、年によって参拝人数にはらつきがあり、少ない年はバンド隊を編成できませんでした。そんな心配をしていたある年、「かがやけ大行進」で、一教会で少人数のバンド隊が、精いっぱい演奏しながら元氣に行進する姿を目にしました。

私はその時、「これだ、人数の多さではない。少人数でも精いっぱいや

れば、子どもたちや指導者の意気込みと素晴らしさが伝わってくるのではないか」と感動しました。

それからというもの、毎年全国大会に参拝し、「かがやけ大行進」に参加できるよう、連合会内にバンド隊への参加を呼び掛けました。

すると、器楽演奏や吹奏楽経験のある子どもたち、さらには「子どもや孫を、一度は少年少女全国大会に参拝させたい」との願いを持っている信奉者が、連合会全体に多くいらっしやるのが分かってきました。

そうして、連合会でのバンド活動が始まりました。裁縫の得意な方にお願ひして、バンド隊の横断幕を作ってもらうことになりました。この時、全国大会参拝経験の有無に関わらず、連合会の若者皆でバンドの名称を話し合ったところ、「鹿児島には古くから、くよくよするより飛び出せ」という意味の、『泣こよか、ひっとべ』という言葉がある。『ひっとべバンド隊』という横断幕が良い」というアイデアが出ました。バンドの名称も決まり、横断幕作成にも弾みがつきました。



連合会全体が協力し、毎年少人数ながらも、車で8時間かけて全国大会に参拝し、「かがやけ大行進」に参加させて頂いています。また、全国大会での演奏だけでなく、連合会の行事でも演奏を披露して、全国大会に参拝できなかった方々に聞いてもらうなど、広くお役に立たせて頂いています。

昔、「教会に子ども一人からでも始まる少年少女会活動」とうたわれていた時代がありました。また、加治木教会の先代は、「一人でも参加者があれば少年少女会を開かねば…」と、晩年口癖のように言っていました。そのような祈りは、時代も地域性も、信奉者数の多少も越えていくことができると思っています。そして、布教が困難といわれる今日でも、細くとも地道な育成活動の協力体勢が、確かな信心の後継者を育てていくように思えます。

## 平成30年度の主な連合会行事

- 3月17日～18日 典楽講習会（上荒田教会）
- 6月5日（火）～6日（水）教区教会活動教師研修会（鹿児島・宮崎合同）
- 6月14日（木）教師研修会（加音ホール 小会議室）
- 6月23日（土）～24日（日）教区「青年ふれあいフォーラム」（大分県）
- 7月8日（日）信奉者研修会（南さつま市民会館…加世田 講師：萬野信一先生 熊本教会長）
- 7月25日（水）教師家庭婦人会（加音ホール 小会議室）
- 8月4日（土）～6日（月）少年少女全国大会参拝
- 8月19日（日）夏のつどい（場所未定）
- 9月9日（日）女性のつどい（加音ホール 小会議室 講師：田辺徳子氏 日田教会 チャリティー  
バザー開催）
- 12月12日（水）連合会「布教協議会」（鹿児島教会）



※今年の「女性の集い」(9/9)では、チャリティーバザーが開かれます

### 《記念祭》

- 串木野教会 布教90年 5月20日（日） 11：00～
- 加世田教会 布教90年 10月21日（日） 11：00～
- 新鹿屋教会 布教70年 11月3日（祝） 13：00～

### ○「移動図書館おあしす」御用奉仕（木山仮設団地・西原村小森団地）

詳細はFacebook「移動図書館おあしす」参照、もしくは教会まで。

#### ☆3月・4月の活動予定日

【木山仮設団地】3月→2・9・16・23・30日

4月→6・13・20・27日

【小森仮設団地】3月→8・19日/4月→3・17日



※4/14・16「熊本地震」発生日、各連合会から竹灯籠が集められ灯されます。

# 甘木親教会 布教記念祭奉祝 バレーボール大会 5/4(祝)

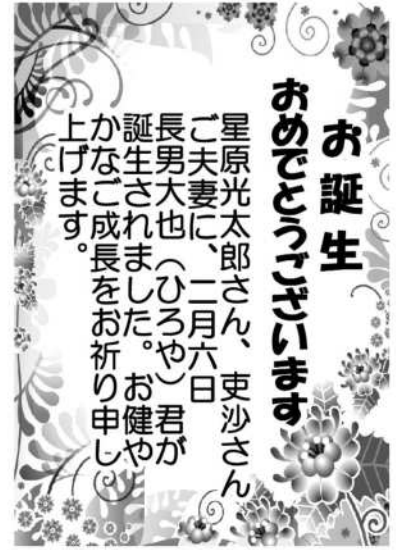
(9人制、体育館にて)

に参加しませんか?! 今年も参加のお誘いがあります、みなさんいかがですか?



人吉教会・宮之城教会・多良木教会 などの教会  
合同の南九州連合チームにて!

バレーボールができない方も、応援部隊で参加してみませんか?



お誕生  
おめでとうございます

星原光太郎さん、吏沙さん  
ご夫妻に、二月六日  
長男大也(ひろや)君が  
誕生されました。お健やか  
かなご成長をお祈り申し  
上げます。

- 28 (水) 清掃御用 10時半
- 25 (日) ●加治木教会 報徳祭 11時
- 24 (土) 御用奉仕
- 22 (木) ●月例祭 共励会 13時半
- 21 (水) 清掃御用 10時半
- 18 (日) 甘木親教会「同釜会」
- 17 (土) ●甘木親教会 報徳祭 11時
- 13 (火) 野元家告別式
- 12 (月) 矢野政美大人立日
- 11 (日) 多良木教会 報徳祭 11時
- 10 (土) ●大津月例祭 10時半
- 7 (水) 龍笛練習
- 4 (日) 甘木親教会初代立日
- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半

## あしあと

2月 加治木教会行事記録

### 南九州キャンプ

熊本県・宮崎県・鹿児島の信者で  
ファミリーキャンプ  
を計画してご参加  
ください。  
とき：8月11日(土)  
～12日(日)  
ところ：人吉球磨地方

## ご霊神様のお立日

### 三月

- 川畑ツネ 之舞 (1日) 昭和44年
- 中野サ子 之舞 (1日) 平成13年
- 永原スミ子 之舞 (1日) 平成20年
- 有蘭トシ 之舞 (2日) 平成26年
- 内村源二 之舞 (3日) 平成5年
- 野口益三 之舞 (5日) 平成26年
- 信國幾雄 之舞 (6日) 昭和42年
- 大山定二 之舞 (7日) 昭和61年
- 荒木美至 之舞 (7日) 平成18年
- 本中野重則 之舞 (12日) 平成24年
- 矢野クラ 之舞 (13日) 昭和31年
- 松田モト 之舞 (15日) 昭和62年
- 信國徹志 之舞 (18日) 昭和52年
- 松田セイ 之舞 (20日) 昭和18年
- 前田広実 之舞 (21日) 昭和36年
- 吉屋茂樹 之舞 (25日) 平成4年
- 津上陸奥 之舞 (29日) 昭和53年
- 本中野金四郎 之舞 (30日) 昭和4年
- 柳園ヨシ 之舞 平成25年

「先祖の」霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。  
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。  
教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

三月十七日(土)・十八日(日)

午後二時より

午前十時より

上荒田教会にて

## 典楽会講習会

琴・龍笛・笙・箏・太鼓

三月二十一日(祝) 午前十時半より

## 春季霊祭奉仕

※「祭典(春季霊祭・勸学祭後、  
教話、茶話会

※霊祭申込用紙をお結界にお届け下さい。

三月二十一日(祝)

春季霊祭に引続き

## 勸学祭奉仕

健康な成長と学業成就の御礼と  
お願いを申し上げます。

※参拝の少年少女にはお直会があります。

三月三十一日(土)～四月一日(日)

「教話」「祭典、三日九時半、  
天地金乃神様

## 御本部御大祭参拝

出 発：三十一日午前七時半  
帰 着：一日午後九時半

交通機関：マイクロボス  
(北薩・球磨地区合同)

### 教会行事

3月

- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (土) 信國家霊祭
- 9 (金) 清掃御用 10時
- 10 (土) ●月例祭10時半
- 11 (日) 少年少女会 10時半
- 13 (火) 矢野クラ刀自立日御折念 10時半
- 17 (土) 18 (日) 典楽講習会上荒田 教会
- 20 (火) 清掃御用 10時
- 21 (祝) ●春季霊祭 10時半
- 22 (木) ●月例祭・共励会13時半
- 30 (金) 清掃御用 10時
- 31 (土) ◆御本部参拝 出 発

《未定行事》青年会・若婦人会

連合会青少年育成会議

四月十四日(土)～十五日(日)

出 発：午前九時(十七時より開会)

甘木親教会

## 青年の集い

4月

- 1 (日) ◆御本部天地金乃神大祭
- 3 (火) 清掃御用 10時
- 4 (水) ●報徳月例祭 10時半
- 9 (月) 清掃御用 10時
- 10 (火) ●生神金光大神様月例祭 10時半
- 11 (水) 連合会執行部会十時半、加治木教会
- 14 (土) 15 (日) ◆甘木親教会 青年の集い
- 15 (日) 人吉教会 御大祭
- 21 (土) 清掃御用 10時
- 22 (日) ●月例祭・共励会 13時半
- 25 (水) 甘木親教会 御大祭
- 28 (土) 御用奉仕 10時
- 29 (日) 加治木教会 御大祭

四月二十九日(日)「祭典午前十一時

加治木教会教会 ※前日御用奉仕

## 天地金乃神御大祭奉仕

祭典後、教話、直会

## 感 詠

(教会長)

難儀なる  
中にあるとき  
人祈る  
深き心の  
やすく湧きいず

苦しきも  
修行もなきは  
幸せと  
思へばそこで  
止まりおるかも



凍てつくも  
日々に努めて  
積み重ね  
至らずながらと  
謙虚に勤めむ

星仰ぎ  
遥拝せんと  
思ひても  
切なる願い  
続くは難し

寒弛み  
梅咲き春の  
訪れに  
季節めぐらす  
天地にときめき



老齡の  
母もかくたる  
姿にて  
過ごして逝くを  
思いつ見舞う

痛みなく  
苦しむことも  
少なくと  
思いつ祈る  
見舞うた後に

沈みても  
親しき人に  
会いたれば  
心躍るは  
不思議なること



厳寒の  
朝数日が  
過ぎたれば  
普通の寒を  
耐え得る不思議